

【小中学校 算数、数学】

単元の指導計画における観点別評価(評定に用いる評価)の位置付け〈例〉

評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①単元の学習内容に合わせて、知識についての内容を「~している」</p> <p>②単元の学習内容に合わせて、技能についての内容を「~できる」</p> <p>【知技①】 単元で学ぶ学習内容を理解しているかを示す。</p> <p>【知技②】 単元で学ぶ学習内容や方法が身に付いているかを示す。</p>	<p>○知識・技能を身に付ける学習の中で表れる学習状況の様子を「~できる」</p> <p>【思判表】 「〇〇している」という状態を見取るとともに「〇〇ができる」かどうかを評価する。 ※考えたことを「説明できる」等の状況を見取る。</p>	<p>○単元の学習内容に合わせて、粘り強く考えようとしていたり、算数、数学のよさに気付いている様子を「~している」</p> <p>【主体態①】 学習内容の必要性や意味を考えている。</p> <p>【主体態②】 身の回りの事象と単元で学ぶ学習内容をつなげて考えている。</p> <p>【主体態③】 単元の学習内容の定着を振り返ったり見直したりして、粘り強く考えようとしている。</p>

評価規準については、単元の学習内容に応じて、「内容のまとめりごとの評価規準」に加え、[用語・記号]や[内容の取扱い]に記載されていることをどのように見取るかを設定するとともに、解説の記述も参考に設定することが必要。 ※算数は、「具体的な内容のまとめりごとの評価規準」一覧より抜粋して記載。

はばたく群馬の指導プランⅡ 単元のつくり方

過程と基本的な学習活動

1 新たな学習内容にふれ、単元の課題を立てる。

- ◇日常生活や社会の事象、数学の事象から算数・数学の問題にであうとともに、既習の知識及び技能、経験を基に解決する。
- ◇新たな学習内容と関連する既習の知識及び技能との共通点や相違点を見だし、もっと知りたいことや考えてみたいことなどを話し合う。

【単元の課題】
〈単元の学習で追究していく問い〉

2 単元時間の基本的な学習過程を通して「本時の問い」を解決する。

単元時間の基本的な流れ

- ①学習を把握し、めあてを設定する。
- ②めあてを追究する。
 - (1)個別に追究し、考えを全体で共有する。
 - (2)考えを深める。
- ③学習をまとめる。 **知識及び技能の習得**
- ④学習の振り返りとして、適用問題に取り組む。

単元時間の基本的な流れ

- ①学習を把握し、めあてを設定する。
- ⋮
- ③学習をまとめる。 **知識及び技能の習得**
- ④学習の振り返りとして、適用問題に取り組む。

3 単元で学んだことを活用する。

- ◇習得してきた知識及び技能を活用し、総合的な問題を解決する。
- ◇解決方法やその根拠、よさなどを数学的な表現を用いて説明し合う。
- ◇単元全体の学習を振り返り、日常生活と数学とのつながりを考える。

単元全体の振り返り

〈例〉評価の位置付け

知識・技能	思考・判断・表現	主体的…態度
	活動的に取り組んでいるなど興味・関心は評価に含まない。	【主体態①】 既習の学習内容の想起
単位時間 各単位時間で重点を置く評価の観点、指導者の授業の「ねらい」によって、変わります。		
【知技①②】 小テスト(適用問題等)で理解の状況を確認	【思判表】 単元の学習内容に応じた説明など	【主体態①】 学習状況の確認 問題の追究
	【思判表】 記 単元の学習内容に応じた説明など	
【知技①②】 記 小テスト(適用問題等)で理解の状況を確認		【主体態①③】 記 学習状況の確認 <small>※数学では、「学びの足跡シート」などを活用し、小単元や単元の学習後に記入</small>
	【思判表】 記 ノート分析	
【知技①②】 記 ペーパーテスト	【思判表】 記 ペーパーテスト	【主体態②】 記 日常生活とのつながりを考える <small>※数学では、「学びの足跡シート」などを活用し、小単元や単元の学習後に記入</small>

はばくプランⅡに示される「問題解決的な学習」の単元構想でない限り、評価規準に示される学習状況の評価をすることはできません。

「指導に生かす評価」 (学習状況を見取る)

全ての単位時間において、「ねらい」に即し、子どもの学習状況を見取り、必要があれば、教師が指導、支援するなどして、その改善を図ります。

「指導と評価の一体化」の充実

「評定に用いる評価」 (評価したことを記録に残す) = **記**

- ・目標の実現状況が子どもの反応から顕著に見られる場面を精選し、学習内容が定着しているかどうかを確認し、指導に生かすようにします。
- ・算数、数学科の知識・技能についてはペーパーテストとして定着を見取ることができます。
- ・思考・判断・表現をペーパーテストで見取る場合は、出題を工夫する必要があります。
- ・主体的に学習に取り組む態度については、学習を小単元ごとに振り返る機会を設定し、子ども自身に有用性を実感させる必要があります。